

先物・オプション 取引ルール

特長	取引ルール	予備知識	先物・OP取引Q&A
----	--------------	------	------------

先物・オプション取引ルールをご案内します。取引に関する詳細情報を記載しておりますので、各項目をお読みの上、お取引を行ってください。ご不明な点などございましたらお気軽にGMOクリック証券コールセンターまでお問い合わせください。

1. 取引概要	6. 取引時間	11. 証拠金	16. 決済
2. 口座開設条件	7. 注文受付時間、取引経路	12. 値洗い	17. 損益
3. 完全前受制	8. 注文の失効	13. 追加証拠金	
4. 取引経路	9. 取引単位	14. 不足金	
5. 注文方法	10. 総建玉の上限	15. 受渡日	

1. 取引概要

	株価指数先物取引	株価指数オプション取引
取扱銘柄	日経225先物(買建・売建、全限月)	ニニ日経225先物(買建・売建、全限月) 日経225オプション(コール・プット、売建・買建、全限月)
1単位(1取額)	日経225先物×1000	ニニ日経225先物×100 日経225オプション(価格(プレミアム)×1,000)
取引手数料(税込)	1枚につき 28円	1枚につき 88円 売買代金の0.15%(最低手数料210円)
総建玉の上限	買建玉・売建玉それぞれ200枚まで	買建玉・売建玉それぞれ2,000枚まで
100あたりの発注上限	買建玉・売建玉それぞれ200枚まで	買建玉・売建玉それぞれ100枚まで
注文の種類	成行、指値、逆指値、最良指値	指値、逆指値
執行区分	なし、FAK、FOK、引け	なし、引け
取引ツール	PC会員ページ、スマートフォンアプリ、モバイルアプリ、モバイルアプリ	PC会員ページ、スマートフォンアプリ、モバイルアプリ
注文受付時間	日中取引: 6:00~15:15、ナイトセッション: 16:15~3:00	
取引時間	日中取引: 9:00~15:15、ナイトセッション: 16:30~3:00	
最低必要証拠金	0円	
必要委託証拠金		
証拠金所要額	「11. 証拠金」参照	

2. 口座開設条件

- 1,000万円以上の金融資産をお持ちであること。
- 先物・オプション取引(口座開設時の口座開設基準として、80歳以下であること。
- 現物取引(証拠金)1年以上、または指値取引(先物・オプション取引)の経験があること。(信用取引/先物・オプション取引)の経験については期間を問いません。また、他社および当社での経験を合算します。
- 「先物・オプション取引(口座開設後)」、「株価指数先物・オプション取引」の契約締結前交付書面、「先物取引(規程)」、「オプション取引(規程)」、「先物・オプション取引(口座開設後)」、「株価指数先物・オプション取引」の内容をご熟読し、ご理解いただけること。
- 先物・オプション取引(口座開設後)、「先物取引」に関する確認書、「先物取引」に関する確認書)を電磁的方法で電子入力してください。
- 常時、会員ページの「お知らせ」を確認していただくこと。(追加証拠金発生時のお知らせを含め、先物・オプション取引)に係る各種通知は原則として会員ページを通じて行います。
- 常時、当社からの電話連絡が行えること。(緊急時刻はお客様によるご連絡を行う場合があります)。
- お客様の連絡先電話番号を正確にご登録いただけること。
- 当社証券口座開設済みであること。

【ご注意】上記基準を満たしている場合であっても、審査の結果によりは口座開設のご希望が認められない場合がありますのであらかじめご了承ください。なお、審査の結果については開設の可否がわかるように、すべて非開示とさせていただきます。

3. 完全前受制

当社では「完全前受制度」を採用しています。「買建可能枚数・売建可能枚数」の範囲内で、ご注文をお受けいたします。オプション取引の買注文は「買付余力」の範囲内で実行されます。「買建可能枚数・売建可能枚数」は、事前に差し入れている証拠金の額、先物・オプション建玉の損益状況および必要証拠金等に基づき計算いたします。

4. 取扱銘柄

日経225先物取引・ニニ日経225先物取引 買建および売建 全限月
日経225オプション 買建および売建 全限月

5. 注文方法

日経225先物取引・ニニ日経225先物取引

取引	新規注文の場合は「新規一買または新規一売」を選択してください。 追済注文の場合は「追済」にチェックの上、「追済一買または追済一売」を選択してください。
指値	選択した指値が表示されます。
限月	選択した限月が表示されます。
取引数量	注文数量を入力してください。100あたりの発注上限は、それぞれ総建玉の上限の範囲内で可能です。 なお、総建玉の上限は「こちら」でご確認ください。
逆指値条件	逆指値注文の時は、注文が発動される条件と、発注される注文の種類(価格)を選択(入力)してください。
注文の種類	成行、指値、逆指値、最良指値
有効期限	有効期限は「当日」、「週末」、「指定」が選択できます。 「指定」は日付指定のことで90日までの日付を選択することができます。 有効期限を過ぎた注文は自動的に失効されます。
執行区分	FAK、FOK、引け

注文の種類・受付時間等によっては選択できない執行区分があります。
詳しくはこちらをご覧ください。
注文の種類・執行条件別の注文可能時間帯

【ご注意】

「当日取引」のご注文では、日中取引(ナイトセッション)へ、又は、ナイトセッションから日中取引への注文の引継ぎはできません。日中取引(引けおよびナイトセッション)引け時点で注文は失効します。

注文の有効期限

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
当日取引	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	この期間のみ有効	月曜の日のみ有効
週末まで	この期間のみ有効					空欄の金曜の日中まで有効	
指定	指定日の日中まで有効						

※指定の有効期限は30日後までの日付を選択する事ができます。

先物取引の板寄せ直前における大口注文の取消等は原則禁止です。

- 原則禁止される行為
 - 1) 追済で行われる板寄せ(上記対象時間帯で行われるものに限る)の総取戻の4分の1以上※1において、取消率(取消注文数量※2÷約定数量)※3が9割以上となる注文の訂正・取消。
 - ※1 板寄せは1日(日中の寄り付きと引け、夜間の寄り付き)に行われます。1) 追済で行われる板寄せの総取戻は昨日等が抜ければ、月曜日から金曜日の間の5営業日×4回となり、1) 追済で行われる板寄せは合計20回となります。この場合、総取戻の4分の1以上は、4回以上の寄り付きとなります。
 - ※2 対象となる注文の取消。
 - 予想対当値段よりも低い(値段の売注文又は高、値段の買注文(売り・買)とも予想対当値段の注文を含む)の取消、及び
 - 予想対当値段よりも低い(値段の買注文又は高、値段への売注文の訂正又は高、値段から低い(値段への買注文)の訂正です。
 - ※3 取消倍率等の計算上の留意点
 - 板寄せごと及び売り買いごとの計算
 - 特定の銘柄においては、一度の銘柄ごとで複数回の訂正・取消が行われた場合や、売り・買(両サイド)で注文の訂正・取消が行われた場合には、最も高、取消倍率を採ります。
 - 約定数量が異なる場合は、取消倍率を倍率で計算
 - 特定の板寄せ時において、複数の銘柄(日経225先物取引・ニニ日経225先物取引)の別及び限月の別で取消倍率が倍以上となった場合は、1銘柄1回として銘柄別の取戻カウント
- 対象時間
始値・終値の決定直前の1分間
日中取引 8:59~9:00、15:14~15:15
ナイトセッション 16:29~16:30、2:59~3:00
- 数量

	右記以外の時間帯	2:59 ~ 3:00
日経225先物取引	250単位以上	125単位以上
ニニ日経225先物取引	600単位以上	250単位以上

※ただし、小口に分割された場合は、売・買別にご適用して上記以上の数量となれば大口注文とみなされます。

また、上記のような大口注文に該当しない取引においても下記のような取引は禁止されます。

先物取引の板寄せ直前における注文取消等の一部禁止に係る規制措置

- 原則禁止される行為
 - 1) 追済で行われる板寄せ(上記対象時間帯で行われるものに限る)の総取戻の4分の1以上※1において、取消率(取消注文数量※2÷約定数量)※3が9割以上となる注文の訂正・取消。
 - ※1 板寄せは1日(日中の寄り付きと引け、夜間の寄り付き)に行われます。1) 追済で行われる板寄せの総取戻は昨日等が抜ければ、月曜日から金曜日の間の5営業日×4回となり、1) 追済で行われる板寄せは合計20回となります。この場合、総取戻の4分の1以上は、4回以上の寄り付きとなります。
 - ※2 対象となる注文の取消。
 - 予想対当値段よりも低い(値段の売注文又は高、値段の買注文(売り・買)とも予想対当値段の注文を含む)の取消、及び
 - 予想対当値段よりも低い(値段の買注文又は高、値段への売注文の訂正又は高、値段から低い(値段への買注文)の訂正です。
 - ※3 取消倍率等の計算上の留意点
 - 板寄せごと及び売り買いごとの計算
 - 特定の銘柄においては、一度の銘柄ごとで複数回の訂正・取消が行われた場合や、売り・買(両サイド)で注文の訂正・取消が行われた場合には、最も高、取消倍率を採ります。
 - 約定数量が異なる場合は、取消倍率を倍率で計算
 - 特定の板寄せ時において、複数の銘柄(日経225先物取引・ニニ日経225先物取引)の別及び限月の別で取消倍率が倍以上となった場合は、1銘柄1回として銘柄別の取戻カウント
- 対象時間
始値・終値の決定直前の1分間
日中取引 8:59~9:00、15:14~15:15
ナイトセッション 16:29~16:30、2:59~3:00
- 訂正及び取消注文数量

	右記以外の時間帯	2:59 ~ 3:00
日経225先物取引	250単位未満	125単位未満
ニニ日経225先物取引	500単位未満	250単位未満

少量の注文の訂正・取消も規制対象となりますが、板寄せ時の価格形成に影響を与えるおそれがないと考えられる注文の訂正・取消の場合は、適用除外となります。

日経225オプション

取引	新規注文の場合は「新規一買または新規一売」を選択してください。 追済注文の場合は「追済」にチェックの上、「追済一買または追済一売」を選択してください。
指値	「日経225オプション」が表示されます。
限月のC	選択した限月、コールまたはプットが表示されます。
行使価格	選択した行使価格が表示されます。
取引数量	注文数量を入力してください。100あたりの発注上限は、「新規一買」の場合は5,000枚、「新規一売」の場合は総建玉の上限の範囲内です。 なお、総建玉の上限は「こちら」でご確認ください。
注文の種類	指値、逆指値
有効期限	有効期限は「当日」、「週末」、「指定」が選択できます。 「指定」は日付指定のことで90日までの日付を選択することができます。 有効期限を過ぎた注文は自動的に失効されます。
執行区分	引け

注文の種類・受付時間等によっては選択できない執行区分があります。
詳しくはこちらをご覧ください。
注文の種類・執行条件別の注文可能時間帯

6. 取引時間

毎営業日の日中9:00~15:15、ナイトセッション16:30~3:00

7. 注文受付時間、取引経路

当社のホームページは原則として24時間アクセス可能です。
但し、メンテナンス時間については、会員ページへのログイン不可、又は取引注文不可の場合があります。
注文受付時間は日中取引:6:00~15:15、ナイトセッション:16:15~3:00となっております。
なお、お電話での注文受付はあわせておこなっております。

【ご注意】

- 新たな限月の取引は、日中取引(開場)日の6:00より、ナイトセッションは16:15より注文可能となります。
- 各限月の最終取引は、その日の前営業日の日中取引となります。

8. 注文の失効

「週末」、「指定」の注文で、価格の変動により買付余力がなくなった場合、約定した注文は自動的に失効となります。

金融商品取引所による取引規制

金融商品取引所(取引)に異常があると認められる場合又はそのおそれがあると認められる場合は、次のような規制措置が取られることがあります。

1. 制限価格の縮小
2. 証拠金の差入日時の繰上げ
3. 証拠金額の引上げ
4. 取引代金の決済日前における預託受入れ
5. 先物取引の制限又は禁止
6. 建玉制限

※**当社独自の取引規制**
当社独自の判断により、個別の規制を行うことがあります。

1)注文件数
新たな限月の注文は、新規決済のかわりず最大で5,000件となります。①注文は現物取引、信用取引、先物オプション取引(外債の注文)を合算します。
注文件数が5,000件を超えると、注文は受入れられません。

9. 取引単位

日経225先物取引	日経225先物×1,000
ニニ日経225先物取引	ニニ日経225先物×100
日経225オプション	日経225オプション(価格(プレミアム)×1,000)

10. 総建玉の上限

日経225先物取引	買建玉・売建玉それぞれ200枚まで
ニニ日経225先物取引	買建玉・売建玉それぞれ2,000枚まで
日経225オプション	買建玉: 上限なし 売建玉: プット・コールそれぞれ100枚まで

※100あたりの発注上限は、上記の総建玉の上限の範囲内で可能です。ただし、日経225オプション(買建玉)の100あたりの発注上限は5,000枚です。

11. 証拠金

必要証拠金

先物・オプション取引の注文時は、あらかじめ当社が定める必要証拠金以上の現金が必要となります。
1)枚あたりの必要証拠金は、日本証券フアリング機構が定めるSPAN証拠金の額に基づき当社が定めるものとします。

1)枚あたりの必要証拠金は、建玉が無引状態(現物決済を行う場合に必要となる証拠金のこと)をいいます。

日経225先物取引	ブライース・スキャンレンジャー×当社の定める担保
ニニ日経225先物取引	日経225先物の1単位あたりの必要証拠金の10分の1
日経225オプション(売建)	スクエア・スクレックと売りオプション1枚当たりの最低証拠金のうち、いずれか大きい方の額× 当社の定める担保

日経225先物(買建) 概算受渡代金(買建代金+手数料)×(担保)

※必要証拠金は会員ページの下記画面からも確認いただけます。

会員ページ「先物・OP」(余力確認)「枚あたりの必要証拠金」

ブライース・スキャンレンジャー、売りオプション1枚当たりの最低証拠金額とは
過去一定期間における原油産産の変動状況に基づき、日本証券フアリング機構が日々定めるSPAN(ブライース・スキャンレンジャー)に示される変動等)です。これらの数値は、**日本証券フアリング機構のホームページ**より確認することができます。

スクエア・スクレックとは
将来(空取引)相場がどのように動くか、銘柄ごとに10日間のシミュレーションを行い計算された予想最大損失額です。

証拠金所要額

証拠金所要額は、お客様の建玉を維持するために必要な証拠金の額です。証拠金所要額は次の計算式により計算されます。
証拠金所要額＝当社基準SPAN証拠金－ネットポジション(買建)×(買建)

当社基準SPAN証拠金額
日×日本証券フアリング機構より配信されるSPAN(スクワア・スクレック)に基づき、当社の基準で計算されたSPAN証拠金額のことです。

ネットポジションの総額
先物・オプション価値の総額－売りオプション価値の総額

12. 値洗い

値洗い(なあらい)とは、建玉を毎日の清算指値(日本証券フアリング機構発表の清算指値)で日×評価替えし、その評価差損益を授受することです。
ナイトセッションでの建玉は、翌営業日の清算指値で値洗いされます。

当社の場合、現在の口座の含み益・含み損を計算し、毎日、評価差損益を計算することにより、追戻の必要があるかどうかを判断しています。

13. 追加証拠金

お客様の受入証拠金の額は、毎営業日引け前値洗いします。お客様の受入証拠金が証拠金所要額を下回った場合、追加証拠金(追戻)して証拠金所要額(追戻)相当額を先物・オプション取引(口座)に不足金を充当するに十分な余力がない場合、お客様の先物・オプション取引(口座)に入金して追加証拠金を入金してください。入金する理由として証券口座からの借入金(マイナス)となっている場合は、当該証券口座への入金が必要となります。その場合、先に証券取引口座の余力を回復した後であれば、先物・オプション(口座)への追加証拠金が入りません。ご注意ください。

追加証拠金の入金がない場合で、証券取引口座に余力がある場合は、当社の任意で現金の指替を行います。
※ご注意は、次の「14. 不足金」の場合にも適用されます。

【保証の期間】

追戻発生日の翌営業日の15時まで
【保証の期日を超過した場合】
原則として追戻発生日の翌営業日のナイトセッション受付時に、お客様の先物・オプション取引(口座)の建玉のすべてを強制決済させていただきます。

※強制決済は対象となるお客様の口座に決済注文を執行する限り、ナイトセッション受付までの注文を訂正できるものではありません。

※強制決済は、当社の任意処分権に基づいて行なわれるもので、FX等のロスカットとは違いお客様の損失を限定するために行われるものではありません。

強制決済を行った際の手数料は、次の通りとなります(最低手数料は)。
日経225先物取引: 取引金額×0.10159%(最低手数料なし)
ニニ日経225先物取引: 取引金額×0.10159%(最低手数料なし)
オプション: 約定代金の0.8%(最低手数料)

14. 不足金

建玉の追戻による損益相当額がお客様の先物・オプション取引(口座)にない場合、不足金が発生し、当該決済の受渡日(決済を行った日の翌営業日)までご入金をいただく必要があります。受渡日までに不足金を充当しない場合、当社の任意によりお客様の権利(口座)にある現金の指替手続きを行います。お客様の権利(口座)に不足金を充当するに十分な余力がない場合、お客様の先物・オプション取引(口座)に入金して追加証拠金を入金してください。入金する理由として証券口座からの借入金(マイナス)となっている場合は、当該証券口座への入金が必要となります。その場合、先に証券取引口座の余力を回復した後であれば、先物・オプション(口座)への追加証拠金が入りません。ご注意ください。

1. 信用取引による建玉
2. 借付取引による保有株式

上記1,2とも、強制決済手数料は約定金利×105%(税込)を乗じた金額(最低手数料: 10,500円)となります。但し、約定代金が21,000円を下回った場合は、約定代金の50%(税込)が手数料となります。

※不足金が解消されない場合、他商品の建玉等の取扱いについては「こちら」をご覧ください。

15. 受渡日

日経225先物取引・ニニ日経225先物取引及び日経225オプション取引の受渡日は、日中取引の場合、決済を行った日の翌営業日です。ナイトセッションの場合、決済を行ったナイトセッションが閉鎖(16:30時点)した日の翌営業日(受渡日)となります。

16. 決済

日経225先物取引・ニニ日経225先物取引

下記のとおり決済方法があります。

1. 反対売買による決済
取引(最終日)まで、買建の場合は売建、売建の場合は買建しをすることにより決済する方法です。
2. 特別清算指値(SQ)による決済
最終取引(日)まで決済されなかった建玉は、最終取引(日)の翌営業日に届出される特別清算指値(SQ)により決済が行われます。SQとは、取引(最終日)の翌日の株価指値(SQ値)に基づいて算出される特別清算指値のことです。
 - 売建玉の場合: 決済代金＝(単建玉×SQ値)×数量×(手数料+消費税)
 - 買建玉の場合: 決済代金＝(SQ値－単建玉×SQ値)×数量×(手数料+消費税)
 - 日経225先物取引の乗取は1,000、ニニ日経225先物取引の乗取は100となります。

日経225オプション取引

1. 反対売買による決済
取引(最終日)まで行われる決済方法で、買建は売建、売建は買建しをすることにより決済を授受することとで決済を行います。
2. 権利行使と権利放棄
取引(最終日)まで反対売買されなかった建玉は、取引(最終日)の翌日において自動的に権利行使あるいは権利放棄されます。建玉の権利行使もしくは権利放棄は、SQ値と権利行使価格の以下の大小の関数によって決まります。
 - オートマナメー(SQ値<権利行使価格)の場合
オプションは自動放棄します。

【ご注意】
オプションの自動権利放棄は手数料(税込)はかかりません。
○ オートマナメー(コール)はSQ値<権利行使価格、プットではSQ値>権利行使価格の場合
オプションは自動放棄します。

【ご注意】
オプションの自動権利放棄は手数料(税込)はかかりません。
○ インダマンナメー(コール)はSQ値>権利行使価格、プットではSQ値<権利行使価格)の場合
オプションの建玉は自動行使されます。

SQ値と権利行使価格との差額に相当する値から手数料を差し引いた金額が受取代金となります。

買方の場合
SQ値－買建玉の権利行使価格)×数量×1,000－(手数料+消費税)＝受取代金
プットオプション
(買建玉の権利行使価格－SQ値)×数量×1,000－(手数料+消費税)＝受取代金
【ご注意】
権利行使による決済で手数料(税込)により決済がマイナスとなった場合、当該マイナス分の決済は行いません。

SQ値と権利行使価格との差額に相当する額で手数料を加えた金額を金持ち払いいただくこととなります。オプション取引における権利行使が行われた場合は、SQ値<権利行使価格)の場合、お客様の損失に相当します。

売方の場合
コールオプション
(SQ値－買建玉の権利行使価格)×数量×1,000＋(手数料+消費税)＝お支払い代金
プットオプション
(買建玉の権利行使価格－SQ値)×数量×1,000＋(手数料+消費税)＝お支払い代金

17. 税金

【課税方法】
申告分離課税

【損益通算】
市場取引(レバレッジ)先物・オプション取引(引け)は、損失(引け)及び利益(引け)により損益が一律申告分離課税のため、取引に売買損益との連関がなくなります。
※現物取引及び信用取引の譲渡差損益と損益を通算することはできませんのでご注意ください。

【税率】
「こちら」をご覧ください。

【損失の繰越】
平成16年以降の繰越に限り損失の繰越のうち、その年ごとの繰越額を限度として、翌年以降3年間こわたり、繰越控除されます。

更新履歴

取引ルールの変更履歴は「こちら」をご覧ください。

- 先物・オプション取引ルール 変更履歴

特長 取引ルール 予備知識